

現代最高のベートーヴェンを披露する!

ストラディヴァリウスを凌ぐ名器『イエスのグアルネリ』を得て
ベートーヴェンの傑作ソナタ全曲演奏に挑む入魂のリサイタル

清水和音×三浦文章

KAZUNE SHIMIZU
PIANO

FUMIAKI MIURA
VIOLIN

ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ 全曲演奏会 I

PHOTO: YUJI HORI

ベートーヴェン
ヴァイオリン・ソナタ

第1番 ニ長調 Op.12-1
第2番 イ長調 Op.12-2

第4番 イ短調 Op.23
第5番 ヘ長調 Op.24《春》

2024年 2月12日 [月・祝] 14:00 開演 (13:15開場) サントリーホール

全席指定・税込

S席 6,500円
A席 5,500円
B席 4,500円
P席 3,000円

チケット発売日 2023年10月14日(土) 10:00

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 <http://suntory.jp/HALL/>
チケットぴあ (Pコード:253-493) セブン-イレブン
e+(イープラス) Family Mart店舗
ローソンチケット (Lコード:34328) ローソン・ミニストップ店内Loppi
お問合せ
サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (平日12:00~15:00)



公演ページ
<https://sunrisetokyo.com/detail/24480/>

※未就学児入場不可※出演者・曲目は止むを得ず変更となる場合がございます。予めご了承ください。※車椅子席をご希望のお客様はS席チケットをご購入の上、サンライズプロモーション東京までご連絡ください。

主催

AMATI

promax
inc.

avex classics
international

SRP SUNRISE
PROMOTION
TOKYO

来年デビュー15周年、今年30歳になったことを機にこれまで常に取り組んできて、もちろんこれからも向き合っていくベートーヴェンのピアノとヴァイオリンのためのソナタ全10曲を3回に分けて演奏させていただきます。自分は16歳から演奏活動が続けて来て、これまで沢山の素晴らしい出会いがありましたが、その中でも巨匠ピアニスト、清水和音さんは自分にとってとても大切な出会いでした。2人での演奏は自然に呼吸が合うのです。ベートーヴェンのソナタ・ツィクルスのピアニストは、迷いなく和音さんしかいないと思っていたので、実現出来るのは最高の気持ちです！和音さんとは、ベートーヴェンのソナタ全曲のレコーディングも進めています。毎回がとても刺激的で、音楽家としての喜びは格別です。また、30歳になった今、名器 グァルネリ・デル・ジェス「カストン」という新たな楽器との出会いもありました。自分自身の延長とも思える相棒です。素晴らしいピアニスト、名器カストン、この奇跡のようなパートナーたちとともに挑むベートーヴェン全曲に興奮しています。

三浦文彰

息子のように年の離れた
天才に出会ってすごく嬉しい。
彼の男らしい音、音楽が
ベートーヴェンにぴったりだし、
ヴァイオリン・ソナタはいい曲ばかりだから、
3回すべてが楽しみだよ。
清水和音

KAZUNE SHIMIZU

FUMIAKI MIURA

清水和音 (ピアノ) Kazune Shimizu, piano

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。

ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブラン氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。

2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とパガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間は年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了。2016年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇ランチコンサート」を開始するなど精力的な活動が続けている。デビュー40周年となった2021年秋には「清水和音 ピアノの祭典」と題し、ソロから室内楽まで4時間を超えるプログラムで大きな存在感を示した。桐朋学園大学・大学院 教授。

三浦文彰 (ヴァイオリン) Fumiaki Miura, violin

世界最難関と言われるハノーファー国際コンクールにおいて史上最年少の16歳で優勝。ロサンゼルス・フィル、マリインスキー劇場管、ベルリン・ドイツ響などと共演。共演した指揮者にドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、ズーカーマンなど。2018年から〈サントリーホール ARKクラシックス〉のアーティスティック・リーダーに就任。21/22シーズンにロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務める。22/23シーズンにはバルセロナ響、ウィーン室内管などと共演。ピリスとのデュオリサイタルを行う。23年2月、3月にウィーン、パリ、日本、ソウルでリサイタルを行い絶賛を博す。CDはエイベックス・クラシックスよりリリース。使用楽器は、株式会社クリスコ(志村晶代表取締役)から貸与された1732年製 グァルネリ・デル・ジェス「カストン」。